

同時資料配布先：

経済産業記者会

学研都市記者クラブ

2021年6月21日

公益財団法人 地球環境産業技術研究機構

## 理事長の交代について

当機構は2021年6月21日の評議員会及び理事会を経て、現副理事長・研究所長である山地憲治が理事長・研究所長に就任しましたことをお知らせいたします。またこれに伴い現理事長茅陽一は顧問に就任いたします。

### 【山地憲治略歴】

山地 憲治

香川県出身。1972年4月東京大学工学部原子力工学科卒業、1977年3月東京大学大学院工学系研究科博士課程修了、工学博士。同年、

（財）電力中央研究所入所。その後、米国電力研究所（EPRI）客員研究員、電力中央研究所・エネルギー研究室長等を経て、1994年より東京大学大学院工学系研究科教授、2010年より（財）地球環境産業技術研究機構（RITE）※ 理事・研究所長、2019年より副理事長・研究所長、2021年より理事長・研究所長。東京大学名誉教授。専門

分野はエネルギーシステム工学。エネルギー・資源学会会長（2011年－13年、現在は名誉会員）、日本エネルギー学会会長（2015年－17年、現在は参与）、日本学術会議会員（2005年－14年、現在は連携会員）等を歴任。政府の各種審議会委員を務め、現在は、総合資源エネルギー調査会・新エネルギー小委員会委員長等。エネルギーシステム等に関する著書は80冊を超えており、論文多数、IPCC第3次および第4次報告書（いずれもWG3）代表執筆者。



### 【茅陽一略歴】

茅 陽一

北海道出身。1957年3月東京大学工学部電気工学科卒業、1962年3月東京大学数物系大学院博士課程修了、工学博士。東京大学電気工学科教授、慶応義塾大学大学院教授を経て、1998年より（財）地球環境産業技術研究機構（RITE）※ 副理事長・研究所長、2011年より理事長（2021年より顧問）。東京大学名誉教授。専門はエネルギー環境システム工学、特に温暖化問題とその対策技術のシステム分析に大きな関心。二酸化炭素の排出を省エネルギー、脱炭素、経済成長で説明する恒等式は茅恒等式として世界的に著名。電気学会会長、



エネルギー資源学会会長、政府総合資源エネルギー調査会会長等歴任。電気学会功績賞など授賞多数。東京都科学技術功労者、環境省環境功労者。平成26年瑞宝重光章。著書「地球時代の電気エネルギー」(日経、1995年)「低炭素エコノミー」(日経、2008年)「温暖化とエネルギー」(エネルギーフォーラム、2014年)など多数。

※ 財団法人地球環境産業技術研究機構は2011年12月に公益財団法人へ移行

お問合せ先

(公財)地球環境産業技術研究機構 企画調査グループ 川口、辰巳